



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月1日

上場取引所 東 札

上場会社名 日本製粉株式会社

コード番号 2001 URL <http://www.nippon.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小寺 春樹

問合せ先責任者 (役職名) 理事 広報部長

(氏名) 満生 潔

TEL 03-3350-3900

四半期報告書提出予定日 平成25年11月11日

配当支払開始予定日

平成25年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	140,312	3.8	5,241	30.0	5,992	31.5	3,848	48.8
25年3月期第2四半期	135,211	2.1	4,032	△19.5	4,555	△15.1	2,586	△15.8

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 6,869百万円 (789.8%) 25年3月期第2四半期 772百万円 (△59.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	23.27	—
25年3月期第2四半期	15.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	230,941	120,345	50.7
25年3月期	214,528	113,263	51.9

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 117,084百万円 25年3月期 111,412百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	7.00	12.00
26年3月期	—	6.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	290,000	7.0	11,000	13.2	11,500	5.4	7,200	2.7	43.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年3月期2Q	170,148,018 株	25年3月期	170,148,018 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	4,745,311 株	25年3月期	4,741,725 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期2Q	165,403,226 株	25年3月期2Q	165,418,848 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や日本銀行による金融緩和政策への期待感から円高修正・株高が進行し、企業業績や個人消費の一部に景気回復の兆しが見られました。しかし、一般消費者がそれを実感するまでには至らず、更には新興国の経済停滞の長期化など不安要素があり、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

食品業界におきましては、原材料価格や電力料等のコストが上昇し、販売競争が一層激化するなど厳しい事業環境が続きました。

このような状況の下、当社グループは事業環境の変化に柔軟に対応し、持続的成長(Sustainable Growth)をより確かなものにするため、各事業分野において業容の拡大とコスト低減による競争力の強化を図るなど、「12/13中期経営計画SG130フェーズⅡ」最終年度の目標達成に向けて全力で取り組んでおります。

なお、本年9月には、長野県におけるトマト等の加工調理製品の製造・販売企業である㈱ナガノトマトに資本参加を行い、当社グループにおける主要事業のひとつである加工食品分野において、さらなる多角的な展開を図ることとなりました。

以上により、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,403億1千2百万円(前年同期比103.8%)、営業利益52億4千1百万円(同130.0%)、経常利益59億9千2百万円(同131.5%)、四半期純利益38億4千8百万円(同148.8%)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①製粉事業

小麦の国際相場上昇に伴い政府の小麦売渡価格が本年4月から5銘柄平均で9.7%引き上げられたことを受け、当社は6月20日出荷分より小麦粉販売価格の改定を行いました。

当社グループは食の安全・安心志向に基づく品質管理の強化に努めるとともに、お客様のニーズや食の多様化に対応するべく新製品の開発、技術講習会の開催、提案営業の推進など積極的な営業活動を展開しました。その結果、国内の小麦粉の販売状況につきましては、販売数量は前年同期を上回りました。

副製品のふすまの売上高は前年同期を上回りました。

以上により、製粉事業の売上高は490億2千万円(前年同期比100.8%)、営業利益は21億7千7百万円(同194.8%)となりました。

②食品事業

業務用では、イタリア料理技術講習会の開催、中食・外食業界の業務用専門展「ファベックス2013」など各種展示会への出展等、積極的なマーケティング活動を展開しました。その結果、パスタ及びパスタ関連商品の販売が好調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

家庭用では、「お客様のニーズ」と「キッチンの不満解消」をテーマに、全てのお客様にご満足いただける商品の開発を目指し、調理時間・工程を短縮するだけでなく、「作る喜び・食する喜び」を届ける商品を展開しました。その結果、新商品のパスタソース等の販売が好調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

冷凍食品類は、家庭用高級パスタの「オーマイプレミアム」シリーズ、大盛り「Big」シリーズの新商品・リニューアル品の投入等、販売促進活動を展開し、お弁当パスタについても、「お弁当たらこスパゲッティ」「2種のスパゲッティ」が引き続き好調に推移した結果、販売数量、売上高ともに前年同期を上回りました。

また、中食関連食品の売上高も前年同期を上回りました。

以上により、食品事業の売上高は778億5千3百万円(前年同期比106.7%)、営業利益は29億9千6百万円(同104.8%)となりました。

③その他事業

ペットフード事業の売上高は前年同期を下回りました。また、エンジニアリング事業についても売上高は前年同期を下回りました。

以上により、その他事業の売上高は134億3千8百万円(前年同期比98.8%)、営業利益は5千5百万円(同109.5%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産残高は、前連結会計年度末に比べ164億1千3百万円増加し、2,309億4千1百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が154億1千3百万円、投資有価証券が43億2千8百万円増加したこと、受取手形及び売掛金が38億8千万円減少したことによるものです。

負債の残高は、前連結会計年度末に比べ93億3千1百万円増加し、1,105億9千6百万円となりました。この主な要因は、社債が100億円、その他固定負債が13億9千5百万円増加したこと、支払手形及び買掛金が27億9千8百万円減少したことによるものです。

純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ70億8千1百万円増加し、1,203億4千5百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が26億7千7百万円、その他有価証券評価差額金が26億7千1百万円、少数株主持分が14億9百万円増加したことによるものです。

(キャッシュフローの状況)

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ148億1千6百万円増加し、248億1千6百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、85億4千4百万円の収入となりました。この主な要因は、税金等調整前当期純利益が59億9千1百万円、減価償却費が39億9百万円となったこと、法人税等の支払により22億3千5百万円の支出があったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、24億4千万円の支出となりました。この主な要因は、投資有価証券の売却による収入が8億2千万円あったこと、固定資産の取得により30億7千4百万円支出したことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、85億7千2百万円の収入となりました。この主な要因は、社債の発行による収入が99億2千6百万円あったこと、配当金の支払により11億6千万円の支出があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年5月14日に公表いたしました通期の業績予想の数値から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,055	25,468
受取手形及び売掛金	40,740	36,859
有価証券	—	1
商品及び製品	12,672	13,413
仕掛品	79	351
原材料及び貯蔵品	18,406	16,801
その他	3,820	4,570
貸倒引当金	△102	△115
流動資産合計	85,671	97,350
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	30,090	29,940
機械装置及び運搬具（純額）	20,064	19,613
土地	25,594	26,165
建設仮勘定	641	1,229
その他（純額）	1,999	1,883
有形固定資産合計	78,390	78,833
無形固定資産		
のれん	691	553
その他	762	818
無形固定資産合計	1,453	1,371
投資その他の資産		
投資有価証券	43,930	48,258
その他	5,381	5,477
貸倒引当金	△298	△349
投資その他の資産合計	49,012	53,385
固定資産合計	128,857	133,591
資産合計	214,528	230,941

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,524	25,726
短期借入金	27,705	26,798
未払法人税等	2,293	1,980
賞与引当金	438	485
その他	14,779	13,636
流動負債合計	73,741	68,626
固定負債		
社債	—	10,000
長期借入金	12,535	15,445
退職給付引当金	2,506	2,696
役員退職慰労引当金	1,067	1,017
その他	11,414	12,810
固定負債合計	27,523	41,969
負債合計	101,265	110,596
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,240	12,240
資本剰余金	10,666	10,666
利益剰余金	77,875	80,552
自己株式	△1,577	△1,577
株主資本合計	99,204	101,881
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,253	14,925
繰延ヘッジ損益	23	0
為替換算調整勘定	△69	277
その他の包括利益累計額合計	12,207	15,203
少数株主持分	1,851	3,260
純資産合計	113,263	120,345
負債純資産合計	214,528	230,941

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第 2 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
売上高	135,211	140,312
売上原価	101,186	103,413
売上総利益	34,025	36,898
販売費及び一般管理費	29,992	31,657
営業利益	4,032	5,241
営業外収益		
受取利息	14	22
受取配当金	501	460
その他	435	750
営業外収益合計	951	1,232
営業外費用		
支払利息	295	295
為替差損	16	—
その他	117	186
営業外費用合計	429	481
経常利益	4,555	5,992
特別利益		
固定資産売却益	145	0
投資有価証券売却益	300	10
受取保険金	—	47
負ののれん発生益	—	37
特別利益合計	446	96
特別損失		
固定資産除売却損	123	94
投資有価証券評価損	234	—
事業構造改善費用	54	—
その他	83	2
特別損失合計	495	96
税金等調整前四半期純利益	4,505	5,991
法人税、住民税及び事業税	1,614	1,951
法人税等調整額	602	171
法人税等合計	2,216	2,122
少数株主損益調整前四半期純利益	2,288	3,869
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	△297	20
四半期純利益	2,586	3,848

(四半期連結包括利益計算書)
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2, 288	3, 869
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1, 533	2, 668
繰延ヘッジ損益	△5	△23
為替換算調整勘定	27	348
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	6
その他の包括利益合計	△1, 516	3, 000
四半期包括利益	772	6, 869
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1, 037	6, 840
少数株主に係る四半期包括利益	△265	29

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,505	5,991
減価償却費	3,559	3,909
のれん償却額	106	137
負ののれん発生益	—	△37
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△65	58
事業構造改善費用	54	—
受取利息及び受取配当金	△516	△482
支払利息	295	295
投資有価証券売却損益 (△は益)	△294	△128
投資有価証券評価損益 (△は益)	234	—
持分法による投資損益 (△は益)	△86	△118
為替差損益 (△は益)	△30	△204
有形固定資産売却損益 (△は益)	△84	3
固定資産除却損	66	94
売上債権の増減額 (△は増加)	572	4,778
たな卸資産の増減額 (△は増加)	3,961	1,316
仕入債務の増減額 (△は減少)	△448	△3,522
その他	△134	△1,542
小計	11,697	10,548
利息及び配当金の受取額	540	503
利息の支払額	△294	△271
法人税等の支払額	△1,553	△2,235
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,389	8,544
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△308	△694
投資有価証券の売却による収入	1,016	820
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	523
有形固定資産の取得による支出	△7,314	△3,074
有形固定資産の売却による収入	233	4
貸付けによる支出	△14	△74
貸付金の回収による収入	94	52
その他	△128	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,422	△2,440
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△45	401
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	△3,000	△2,000
長期借入れによる収入	885	3,580
長期借入金の返済による支出	△491	△2,004
社債の発行による収入	—	9,926
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	—	0
リース債務の返済による支出	△134	△161
配当金の支払額	△1,160	△1,160
少数株主への配当金の支払額	△21	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,967	8,572
現金及び現金同等物に係る換算差額	18	201
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	18	14,877
現金及び現金同等物の期首残高	9,848	10,000
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△60
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,867	24,816

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	製粉事業	食品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	48,629	72,985	121,614	13,596	135,211	—	135,211
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,063	291	1,355	1,102	2,458	△2,458	—
計	49,693	73,276	122,970	14,699	137,669	△2,458	135,211
セグメント利益	1,117	2,858	3,976	50	4,027	5	4,032

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットフード、健康食品類、エンジニアリング等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額5百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	製粉事業	食品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	49,020	77,853	126,873	13,438	140,312	—	140,312
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,119	281	1,401	1,050	2,451	△2,451	—
計	50,139	78,135	128,275	14,488	142,763	△2,451	140,312
セグメント利益	2,177	2,996	5,174	55	5,230	11	5,241

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットフード、健康食品類、エンジニアリング等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額11百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。